



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 兵機海運株式会社

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,553	1.1	232	24.6	196	30.0	79	△35.9
26年3月期第3四半期	10,439	10.6	186	747.0	151	—	123	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 125百万円 (△51.7%) 26年3月期第3四半期 259百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	6.71	—
26年3月期第3四半期	10.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第3四半期	12,490	—	1,764	—	14.1	149.11
26年3月期	12,695	—	1,675	—	13.2	141.52

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,764百万円 26年3月期 1,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期の配当金額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,200	1.5	250	18.9	200	33.2	120	—	10.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	12,240,000 株	26年3月期	12,240,000 株
27年3月期3Q	404,292 株	26年3月期	404,053 株
27年3月期3Q	11,835,920 株	26年3月期3Q	11,836,250 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀一体となった経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢などに改善の動きが見られ、緩やかな回復基調にて推移いたしました。一方では、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や急激な円安による輸入原材料価格の高騰が懸念されるなど、依然として国内経済の先行きは不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは「安全・迅速・信頼」をモットーに、総物流業者として社会的貢献を目的として営業展開を行いました。その結果、事業別の業績は以下のとおりであります。

内航事業では、主要荷主である鉄鋼メーカーの取扱量が減少したこと、台風などの荒天による滞船が備船の運航効率に悪影響をもたらせたことなどから、売上高4,825百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益226百万円(前年同期比9.1%減)となりました。外航事業では、前年度第3四半期に比べ長門海運株式会社を子会社化し、日台間航路等業容を拡大したこと、日露間航路が順調に推移したこと、自社船の備船貸出しにより収支が安定したことなどから売上高1,027百万円(前年同期比35.7%増)、営業損失68百万円(前年同期は191百万円の営業損失)と収支の改善を図ることができました。

港運事業では、消費税増税・円安進行の影響により輸入貨物の取扱量が減少傾向にあることから、売上高3,761百万円(前年同期比1.7%減)、また、国内輸送コスト・管理経費の増大もあり営業利益78百万円(前年同期比45.3%減)と厳しいものとなりました。倉庫事業では、神戸地区の倉庫が神戸物流センターと摩耶倉庫の相乗効果に加え賃貸用倉庫での安定した収益もあり順調に推移したものの、輸入品を主に扱う大阪物流センターでの円安の影響による取扱量の減少、鋼材を主に扱う姫路倉庫での取扱量の減少による落込みをカバーするに至らず、売上高938百万円(前年同期比1.7%増)、営業損失4百万円(前年同期は13百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,553百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益232百万円(前年同期比24.6%増)、経常利益196百万円(前年同期比30.0%増)、船舶所有子会社にて船舶管理契約解約金等31百万円など、特別損失に34百万円を計上したことから、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は79百万円(前年同期比35.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部では、流動資産は3,971百万円となり、前連結会計年度末と比較して18百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加29百万円等に対して、その他流動資産に含まれている短期貸付金の減少51百万円等によるものであります。固定資産は8,518百万円となり、前連結会計年度末と比較して185百万円減少いたしました。これは主に、船舶を取得したことによる増加90百万円、投資有価証券の時価評価の上昇による増加63百万円及び減価償却による固定資産の減少305百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は5,844百万円となり、前連結会計年度末と比較して69百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等の増加59百万円、その他流動負債に含まれている未払消費税等の増加52百万円等に対して、短期借入金の減少40百万円等によるものであります。固定負債は4,881百万円となり、前連結会計年度末と比較して363百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少325百万円等によるものであります。

純資産の部は、1,764百万円となり、前連結会計年度末と比較して89百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加41百万円、利益剰余金の増加43百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更）

当社グループが保有する有形固定資産の船舶のうち外航船は、従来、耐用年数を15年として減価償却を行ってきましたが、使用実績が蓄積され、長期間の使用が見込めることが判明したため、第1四半期連結会計期間において使用実績に基づき耐用年数を20年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ41百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,793	1,816
受取手形及び売掛金	1,717	1,747
原材料及び貯蔵品	79	62
前払費用	37	110
その他	377	249
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	3,990	3,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	4,593	4,601
減価償却累計額	△1,818	△1,934
建物及び建物付属設備（純額）	2,774	2,667
船舶	4,024	4,115
減価償却累計額	△1,644	△1,804
船舶（純額）	2,379	2,310
土地	1,533	1,533
その他	491	494
減価償却累計額	△347	△370
その他（純額）	144	123
建設仮勘定	36	—
有形固定資産合計	6,868	6,635
無形固定資産		
その他	151	146
無形固定資産合計	151	146
投資その他の資産		
投資有価証券	1,128	1,208
その他	564	539
貸倒引当金	△8	△11
投資その他の資産合計	1,684	1,736
固定資産合計	8,704	8,518
資産合計	12,695	12,490

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,308	1,290
短期借入金	4,337	4,297
未払法人税等	16	75
賞与引当金	3	0
その他	109	180
流動負債合計	5,775	5,844
固定負債		
長期借入金	4,609	4,284
債務保証損失引当金	65	65
船舶修繕引当金	143	114
退職給付に係る負債	283	293
その他	142	123
固定負債合計	5,244	4,881
負債合計	11,020	10,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	939	983
自己株式	△92	△92
株主資本合計	1,492	1,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	248	289
繰延ヘッジ損益	△65	△61
その他の包括利益累計額合計	182	228
純資産合計	1,675	1,764
負債純資産合計	12,695	12,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,439	10,553
売上原価	9,116	9,087
売上総利益	1,322	1,465
販売費及び一般管理費	1,135	1,232
営業利益	186	232
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	15	17
持分法による投資利益	15	10
貸倒引当金戻入額	1	—
その他	18	17
営業外収益合計	59	55
営業外費用		
支払利息	90	79
その他	3	11
営業外費用合計	94	91
経常利益	151	196
特別利益		
負ののれん発生益	86	—
その他	12	—
特別利益合計	98	—
特別損失		
固定資産売却損	69	—
船舶管理契約解約金等	—	31
その他	0	2
特別損失合計	69	34
税金等調整前四半期純利益	180	161
法人税等	56	82
少数株主損益調整前四半期純利益	123	79
少数株主利益	—	—
四半期純利益	123	79

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	123	79
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118	40
繰延ヘッジ損益	16	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	135	46
四半期包括利益	259	125
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	259	125
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。